



## はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。このような状況の中、現在ある岐阜市の貴重な自然環境を、次世代に残し伝えることが、私たちの役割です。

そのための第一歩として「**岐阜市自然ふれあい地域ビジョン**」策定に取り組みます！！



## 自然ふれあい地域ビジョンとは？

自然ふれあい地域ビジョンとは、岐阜市に現在残っている自然環境のうちで、**1.将来にかけて保全すべき自然環境が残っている地域** **2.稀少種にとらわれず、その地域全体が持つ環境資源が重要な地域** **3.今後放置することにより、保全すべき自然環境が失われる事が予想される地域** **4.地域住民と協働で保全活動を進めることを重視する上で、活動拠点となる場所がある地域** 等の視点から「**自然ふれあい地域**」を設定し、各地域における保全の方向性をビジョンとしてとりまとめ、保全活動に取り組んでいくものです。

ここで最も重要な点は、**地域の自然環境を協働作業を通して、地域が守っていくという取り組み**です。

### 第1回ワークショップの活動内容（7月16日開催）

- ・岐阜市にある自然環境の再確認（スライドで確認しました。）
- ・岐阜市の自然資源の洗い出し（グループに分かれて、資源の確認をしました。）

### 岐阜市の自然資源の再確認

岐阜市を中心に植物の研究をされている成瀬亮司さんから、岐阜市に残っている自然環境についてご紹介を頂きました。

岐阜市には、金華山、長良川以外にも、大洞、北野、彦坂、雛倉等田園風景や、谷戸と呼ばれる地形を残す場所で、まだまだ多くの自然が残されていることが伝えられました。

自然ふれあい地域ビジョンでは、そのようなまだ残されている貴重な自然環境をどのように守り育てていくか検討することが重要になります。

谷戸に残された湿地をはじめ、昔の姿を残している自然環境を守っていくことが大切です。



## 岐阜市の自然資源の洗い出し

グループワークでは、岐阜市に存在する自然環境に関する資源を種類別にとりまとめていきました。

岐阜市の地図に自然資源の位置を落としてみると、金華山の他にも、北野、彦坂、百ヶヶ峰、大洞など、田園風景や谷戸と呼ばれる昔ながらの自然環境が残されている地域が重要だという認識がされていることがよく分かります。

また、その他にも、自分たちが住む地域における都市河川や田畑を含む都市内の自然環境も重要であるという意見も出されました。

このような自然が残されている「場」全体をどのように守り育てていくかが、大きな課題となっていることがうかがえます。

## ワークショップで出された環境資源の分布

- ：植物の資源
- ：動物の資源
- ：水に関する資源
- ：保全活動の場所



## グループ意見の発表！！



## おわりに

今回のワークショップで、岐阜市には、稀少種をはじめ、様々な生物の生息の場が残されている事が分かりました。今後この「場」どのように守っていくか検討していかなければなりません。

次回以降のワークショップでは、自然環境を市民の手で守っていくために注意すべき点の確認や現地の視察等を行います。皆様のご参加をお待ちしております！！

## 自然ふれあい地域ビジョンに関する問い合わせ

岐阜市 人・自然共生部 みどり自然室 担当：吉村

TEL：058-265-4141 FAX：058-267-1374

E-mail：midori@city.gifu.gifu.jp

みどり自然室 HP アドレス：http://www.city.gifu.gifu.jp/splash/midori/index.html